

特集

子どもの声が

聞こえますか？

みんなで防ぐ児童虐待

依然として毎日のようにテレビ・新聞などで取り上げられる「児童虐待」。なぜ可愛いわが子に虐待をしてしまうのでしょうか。

今回は児童虐待の実態と、若いパパ・ママたちが抱える子育ての悩みなども交え、子どもが健やかに育つ社会はどうすれば実現できるのかを探ります。

ある秋の日の ママたちの会話

秋も深まった11月半ばのある月曜日。

こは、乳幼児とその保護者が交流を図り、子育て情報を交換し合う場として、今年5月に開設された、市内で2か所目のつどいの広場「たんぽぽ」です。

午前10時近くになると、今日も若いママたちが子どもを連れて集まって来ます。

「今日のニュースでもやってたけど、相変わらず虐待って多いんだね」

「そうなんだ」



「自分の子どもを殴って死なせちゃったり、子どもだけで留守番させて、火事になって焼け死んじゃったり、本当に子どもがかわいそうだよね」
「うん」



「たんぽぽ」はママたちの交流の場
(写真は本文と関係ありません)

「虐待とまでは行かないかもしれないけど、こないだなんか親子で道を歩いているのを見かけたんだけど、お母さんがさっさと先に行っちゃって、幼い子どもが後からヨチヨチ歩いているんだよ。車の通りが激しい国道だったからこっちがひやひやしちゃった」
「たまにそういうの見かけるよね」

「深夜のコンビニで小さい子を連れて買い物に来たりとか、車の中で親がタバコを吸っていて子どもが煙たそうにしているとか、心配なことって結構あるよね」

「うん、あるよね」
「児童虐待について、みんなはどう考えているのかな」



①私たちもしついで子どもを叩くことがある。最近は親に逆ギレする幼児もいて、人間自体が変わってきたのでは。②児童虐待は今後も減らないと思う。(及川さん、石毛さん親子)

質問

①報道される児童虐待についてどう思う？

②児童虐待はどうすれば減ると思う？

テレビや新聞などで報道される児童虐待についてどう思うか、市民の皆さんに聞いてみました。

児童虐待について
みんなで考えよう



①子どもたちが悪いことをすれば叩くときがある。でも行き過ぎはしない。②社会が複雑で、もう少し世の中が簡単だったらあまり悩むことも少ないのでは。(井上さん親子)



①時にはげんこつも必要だけど、体や心に傷が残るのは問題。②祖父母も孫を見てくれれば減ると思う。(金子さん親子)



①虐待をするお母さんたちは1人で悩んでいるのでは。②誰か悩みを聞いてくれる人がいれば減ると思う。(端川さん親子)



①親が育った環境にもよる。親が悪いと一概には言えないのでは。②家族が協力してくれれば減るのでは。(塚本さん親子)



①気持ちは分かるけど叩いたりしない。②周囲の人に悩みを話してみてもいい。つどいの広場を活用している。(飯田さん親子)



①虐待の前に周りで話を聞いてくれる人がいれば。②つどいの広場のような行政のサポートが必要と思う。(佐々木さん親子)



①児童虐待はあり得ない。ひどすぎる。②虐待をする親たちには親としての教育が必要なのは。(根岸さん親子)



①虐待はしつと紙一重。しつとして叩くことはある。②周りの人が早く異変に気づいていれば、と思う。(鶴殿さん親子)



①子育てに自信をなくして叩いてしまったことがある。②安心して子どもを預けられる場所があれば、と思う。(椎名さん親子)



①自分が子育てした頃には考えられない。②昔は不便で家族が協力して生活していた。家族のきずながあった。(玉沢さん)



①ニュースを見るたび悲しい気持ちになる。②家庭がしっかりしていれば虐待なんてことにはならないのでは。(実川さん)